

宮前区のミライを考える さぎぬまプロジェクト

これまでにいただいた質問・意見に対する市の考え方

平成 30 年 8 月 26 日

これまでに実施した「まちづくりフォーラム」や「意見交換会」などで、複数の方からいただいた御意見・御質問について、現時点での市としての考え方をお示します(第 2 回意見交換会の 4 テーマで整理)。

■ 鷺沼駅周辺のまちづくりと公共機能

Q 1. 鷺沼駅前には区役所*分庁舎(一部機能のみ移転)を設置してはどうか。

- ・ 川崎市では、転入・転出と福祉サービスなど、手続きの種類によって区役所と支所・出張所を使い分けることなく、1 か所で必要なすべての窓口サービスを提供できるようにするとともに、限られた財源・資源を最大限に活用していくため、出張所の届出窓口の区役所への集約など、様々な取組を推進してきました。
- ・ 少子高齢化や核家族化などにより市民生活が多様化する中で、行政サービスも専門化、複雑化し、それぞれの窓口や相談体制が連携して取組を推進しています。
- ・ 将来的に人口減少への転換が確実に予測される中で、単なる届出や証明書発行などは、オンライン化やコンビニエンスストア等での交付へと移行し、これからの区役所には、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、福祉や介護、生活支援に関する相談など、市民生活に必要な取組を一体的に推進する地域の総合行政機関としての役割が、一層重要になっていくと考えられます。
- ・ こうした中長期的な展望に立ち、今後も区役所の機能を切り分けることなく、将来にわたって市民ニーズに応じたきめ細やかな行政サービスを着実に提供していくことが必要であると考えます。

* 区役所…移転可能性を含めて検討している「区役所・市民館・図書館」のうちの「区役所」

Q 2. 鷺沼駅周辺のまちづくりと公共機能について、市としての考えを聞かせてほしい。

- ・ 鷺沼・宮前平駅周辺地区は、本市総合計画において「地域生活拠点」の一つとして位置づけられており、「民間活力を活かした駅前広場の再整備等による、鷺沼駅周辺を中心に商業、都市型住宅、文化・交流など多様な都市機能の集積及び交通結節機能の強化に向けた取組を推進」することとしています。
- ・ 今回の民間事業者による再開発は、この位置づけに即した取組として、交通結節機能としての駅周辺交通環境の改善など、宮前区全体の利便性向上に寄与する効果が期待されます。
- ・ 宮前平に立地している区役所・市民館・図書館へのアクセスに課題があるということは、これまでも指摘されています。本年 6 月に実施した区民意識アンケートでは、「区役所・市民館・図書館への距離への満足度」について、「少し不満である」が 29.8%、「不満である」が 29.5%という結果でした。
- ・ 将来的な少子高齢化の一層の進展を見据え、こうした課題を解決するためにも、今回は、再開発によって交通利便性が高まり、都市としての機能が向上する鷺沼駅周辺に、公共機能を一体的に移転する可能性も含めて検討する機会であると捉えています。

Q3. AIやICTを活用し、使いやすくコンパクトな公共機能を設置してほしい。

- ・ AIやICTの進展は非常に目覚ましく、業務の効率化をはじめ、市民サービス向上に役立つ可能性のある最新技術だと認識しています。
- ・ 本市では、「AIを活用した行政サービスによる課題解決及び市民サービスの向上」を目的として平成28年から二度にわたり実証実験を実施しました。
- ・ 区役所を含む本市の行政サービスにおける新たな技術の活用については、引き続き、技術動向などを踏まえて検討していきます。

■交通・アクセス

Q4. 鷺沼駅前にアクセスが集中して、混雑してしまうのではないか。

- ・ 鷺沼駅周辺では、現在、交通広場の機能不足や付加車線(右左折レーン)が整備されていないことなどによる交通処理能力の低下などの課題があることから、民間活力を活かした市街地再開発事業と併せた交通広場の再整備によるバスバース数の増加などの交通広場の拡充や周辺道路への右左折レーンの設置など通過交通等に配慮した交通流の改善に向けた検討を行っています。
- ・ また、併せて、鷺沼駅周辺地区を中心とした路線バスネットワークの充実を図ることで、公共交通機関の利用促進を図り、交通混雑の緩和に努めています。

Q5. コミュニティバスはなぜできないのか。どうすれば走らせられるか。

- ・ 川崎市では、「身近な地域の交通」の基本は、路線バスとして位置づけています。地域の交通課題を検討する際、まずは路線バスが活用できないかを検討することとなります。
- ・ コミュニティ交通は、路線バスの活用が難しい場合、地域のみなさんが主体となって導入する交通手段になります。
- ・ 川崎市内でも、地域住民の主体的な取組により、麻生区高石地区の「山ゆり号」や多摩区长尾台地区の「あじさい号」などコミュニティ交通の本格運行が行われています。
- ・ 川崎市として、地域の主体的な運営によるコミュニティ交通の導入に向けた取組に対して、住民が活動しやすい環境づくり、安全運行のための情報提供、技術的支援の提供、交通事業者との調整など、取組等の進捗状況に応じた支援を行い、持続可能な交通環境の整備を推進しています。

■ 宮前区全体のまちづくり

Q 6. 今の場所に区役所等を整備した理由を知りたい。

- ・ 昭和 57(1982)年に高津区から宮前区を分区する際、区役所等の庁舎については、土地の有効利用や機能の向上といった観点から、総合庁舎として区役所と市民館、図書館等は同一地に設置することが計画されました。
- ・ 総合庁舎を建設するには、1万平方メートル程度の土地が必要とされ、当時の幹線道路や地下鉄計画をはじめとした交通体系の整備構想も合わせて考慮した結果、現在地の土地を取得した経過があります。

Q 7. 鷺沼の未来の検討と並行して跡地のあり方も検討する必要があるのではないか。

- ・ 仮に「区役所等を移転する」とした場合の課題にはなりますが、第1回まちづくりフォーラム等でも同様のご質問やご意見をいただいておりますので、現在の区役所等用地(跡地)のあり方についても、鷺沼駅前再開発に望まれる公共機能の検討と並行して、意見交換してまいります。

Q 8. 区役所にどういう用事で来る人が一番多いのか

- ・ 区役所の窓口ごとの来庁者数を集計したデータはなく、手続き等の処理件数からの推定になりますが、区役所には、転入・転出等の手続きや証明書の発行件数が最も多くなっており、次いで国民健康保険・国民年金等に関する手続きが多くなっています。
- ・ また、児童、障害者、高齢者、生活保護等の福祉に関する手続きや相談も多く、これらの手続きの中には、年に複数回の来庁が必要な方もいらっしゃいます。
- ・ なお、本年6月に実施した区民意識アンケートにおいて、宮前平にある公共施設(区役所・市民館・図書館)に行く目的についてお聞きしたところ、上位5項目は以下のとおりでした。

(資料 1:「鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の検討状況について」2 ページ「問 6」参照)

| | |
|-----------------------------|-------|
| ①住民票や印鑑登録証明書などの証明書を発行するとき | 73.4% |
| ②転入・転出や戸籍・印鑑登録などの手続きをするとき | 63.0% |
| ③各種イベントやコンサート、発表会などに行くとき | 30.5% |
| ④本や雑誌を読んだり、借りたりしたいとき | 27.4% |
| ⑤子どもに関する各種手続き等の行政サービスを受けるとき | 22.7% |

Q 9. 宮前区の分区は将来もないのか。

- ・ 川崎市では、昭和 57(1982)年に高津区から宮前区が、多摩区から麻生区がそれぞれ分区し、7 区制となりました。これは、昭和 47(1972)年の政令指定都市移行時から、高津区・多摩区の都市化の進展に伴う将来的な人口増加が見込まれたことによるもので、当時の推計では、両区とも 35 万人を超えることが想定されていました。
- ・ 平成 29(2017)年に実施した本市の将来人口推計では、宮前区の人口は平成 47(2035)年の 23.8 万人をピークとして減少に転じる見込みです。
- ・ 人口規模を1つの目安として考慮すると、宮前区の将来的な分区は想定できません。

■ 検討の進め方

Q10. まずは、区役所等を移転する場合としない場合の必要経費の比較が必要ではないか。

- ・ 現在、区役所等の建物の劣化状況の確認、長寿命化整備の方針検討と課題の整理、現在の建物を継続利用した場合と移転した場合の必要概算経費の算出などについて、専門業者への委託により基礎調査を実施しています。
- ・ 「中間報告まちづくりフォーラム(8月26日開催)」では、コスト面も含めた基礎調査の作業状況を報告します。
- ・ 特にコスト面については、条件設定により結果が大きく変動することから、今後も算定条件等を整理・精査し、比較検討に必要な情報を抽出していきます。

Q11. 区役所機能移転と再開発の検討は分けて考えてはどうか。

- ・ 今回の取組は、民間事業者による鷺沼駅前再開発によりバスターミナルが広がるなど、交通結節点としての機能の向上が見込まれることなどから、この機会を捉えて、鷺沼駅前に望まれる公共機能は何か、ということを検討するものです。
- ・ 再開発がなければ、現時点で区役所・市民館・図書館等の移転について検討することはありません。

Q12. ワークショップに女性の方が落選している。女性の参加者が少ないのではないか。

- ・ 応募者全109名のうち女性は30名(27.5%)でした。
- ・ ここから、地域や年代に加えて男女バランス(当初比よりも女性の割合を増やすこと)を考慮して抽選を行い、女性の参加者は18名(36%)となりました(辞退者が1名いらっしゃいましたので、女性の落選者は11名でした。)

Q13. いつ、だれが、どのような形で検討を進め、決定していくのか。

(意見交換会での意見がどのように反映されるのか)

- ・ 意見交換会(ワークショップ)では、50名の参加者に4回連続した内容で理解や意見を深めていただき、創造的な議論ができるように運営してまいります。
- ・ まちづくりフォーラムでは、意見交換会に参加できなかった方々を含め、幅広い参加者の方々に取組内容をご説明するとともに、ご意見を伺ってまいります。
- ・ さらに、無作為抽出の区民アンケートによる統計的な意識調査や、区役所の日常業務等に関わりのある団体等を対象とした説明・ヒアリングなど、多角的な意見聴取を実施しながら検討を進めていきます。
- ・ また、行政内部では、副市長を座長とする「鷺沼駅周辺再編整備公共機能検討会議」及びその下部組織である幹事会や部会を設置しています。現在は、まちづくりフォーラムや意見交換会の運営に関することなどについて検討・調整しています。
- ・ 区民の皆様からいただいた御意見は、これまでも検討の進め方や論点などに反映しています。
- ・ 今後につきましても、意見交換会をはじめとした様々な場面でいただいた御意見を、個々の結果

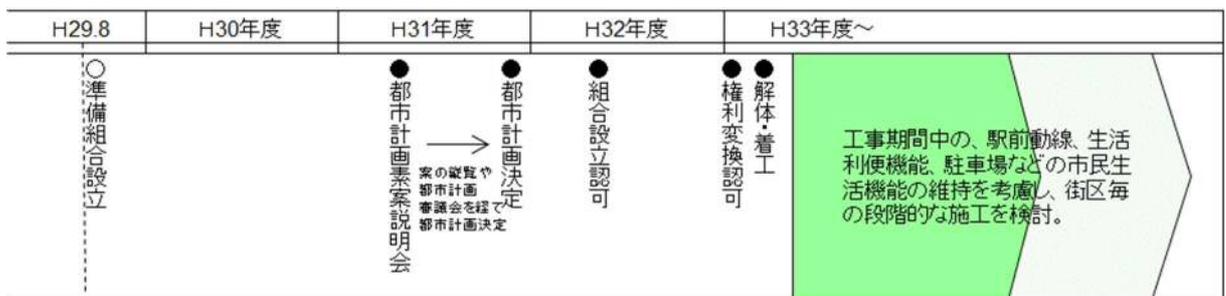
だけでなく、総合的に整理、検討し、平成31年2月に公表を予定している「基本方針(案)」に反映していきます。

なお、再開発準備組合では、平成31年度の都市計画決定手続きを経て、平成33年度から街区ごとに段階的な施工が検討されています。川崎市が行う都市計画決定手続きの中では、都市計画素案説明会や縦覧など、都市計画の内容について、市民意見を伺う場があります。

■宮前区のミライを考える さぎぬまプロジェクト スケジュール



■鷺沼駅前地区再開発事業 スケジュール



※ 現時点の想定スケジュールであり、今後変更する可能性があります。

Q14. このプロジェクトの市の主管はどこの部局になるのか。

関係4局区で連携しながら取組を進めています。

- 市民文化局…意見交換会やフォーラム、区役所機能に関することなど
- 宮前区役所…区民アンケート、関係団体等説明・ヒアリング、区役所機能に関することなど
- 教育委員会事務局…市民館・図書館機能に関することなど
- まちづくり局…再開発事業全般、交通環境に関することなど

Q15. 区役所等を移転する理由を説明してほしい。

- ・ 現在の区役所・市民館・図書館は、供用開始から 30 年以上が経過し、施設や設備の老朽化が進んでいるものの、今すぐに建替えを必要とする状況ではありませんし、将来的に施設更新を行う場合、様々な課題はあるものの、現地での建て替えが不可能なものでもありません。
- ・ 一方、今回の民間事業者による再開発は、中長期的な宮前区のまちづくりという観点から、とても大きな事業です。
- ・ 鷺沼・宮前平駅周辺地区は、本市総合計画において「地域生活拠点」の1つとして位置づけられており、「鷺沼駅周辺を中心に(中略)多様な都市機能の集積及び交通結節機能の強化に向けた取組を推進」してきました。
- ・ 今回の民間事業者による再開発は、この位置付けに即した取組であり、今回のプロジェクトは、これを契機として、鷺沼駅前にどのような公共機能が望まれるかということについて検討するものです。

Q16. 子どもの意見を聞いてほしい。

- ・ 宮前区のミライを考えるプロジェクトとして、子どもたちの率直な意見を聞く機会の設定について、現在検討しています。

Q17. 外部委員会を設置して検討してはどうか。外部の視点による検討が必要ではないか。

- ・ 今回の取組を始めるにあたって、学識経験者や市民代表からなる外部委員会の設置についても検討いたしました。
- ・ 今回の取組は区役所、市民館・図書館という区民が利用する施設の移転可能性を含めて検討するため、区民の生活実感としてのニーズや課題の把握を重視し、限られたメンバーで構成される外部委員会ではなく、より多くの区民の参加機会を確保するため、意見交換会(ワークショップ)やフォーラムを取組の中心としました。
- ・ 意見交換会(ワークショップ)やフォーラム自体が、外部の視点による検討そのものであると位置づけています。
- ・ 「基本方針(案)」については、いただいた御意見を踏まえ、行政内部で取りまとめてまいります。その内容についても、これまでの過程で御参加いただいた皆様にチェックしていただくことが重要ですので、パブリックコメント手続と並行して市民説明会を開催し、皆様から御意見を伺う場を設定してまいります。